

屋久島の 魅力に迫る！

その19

— 屋久島の人々： 草木染め工房 コポル —

「コポル」のお店は今から9年前に開いた。
草木染の専門家「日高安子さん」と、企画・デザイン
+縫製+店運営を受け持つ、姪御さんの「貴見さん」が
力を合わせることで成り立っている。



日高安子さん

屋久島で生まれ、学生時代は
鹿児島へ。そして、島に戻って
からは役所勤めをしていたが、
仕事上、染色の世界に関わることに。
草木染めの魅力にとりつかれ
平成に入って、独立する。
以来、工場でひたすら染色に没頭する毎日。

地元の自然の中で育った安子さん。
材料はもっぱら「屋久島に自生する植物」
屋久杉の皮、椎、すすき、はぜ、よもぎ・・・
ご自身で山に入り採取している。



日高貴見さん

2年前の夏休み。小学校6年生の娘さんが
隣の種子島を自転車で1周するという
計画に便乗し母子で実行した。
親子ともなかなかの冒険好き。

そんな噂を聞いたあとで
初めてお会いしたのだが、
想像していた通りの、自然体で
とても爽やかな女性でした。



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

代表取締役 八田欣也